

「第3回北海道道德教育フォーラムinさっぽろ」開催要項

【よびかけ】

私たちは、「道德」の教科化を目前にした今、特定の教育観・教育理論を前提にしない、だれでも参加できる「子どものための道德教育」を学び合い・交流する場をつくろうと考えました。具体的には、次のような活動を考えています。本フォーラムは、

- 学校教育での「道德教育」のあり方、様々な教育活動と「道德教育」と関連した実践、「道德の時間」の授業づくりの学び合いと実践交流を進めること
- 全道各地でフォーラムを行いつつ、夏／冬の年2回、公開フォーラムを開催すること
- ホームページ上に、会員の研究・実践の公開・交流の場をつくること
- 連絡・会報（紙・誌）などは、PDF配信として経費をかけないこと



その他、参加者の意見を集約しながら、研究交流活動を充実させていくこととしています。教職員、保護者、研究者など、子どもの健やかな成長・発達と道德教育に関心を寄せられる方々の参加を呼びかけます。

【テーマ】

子どもを人として育てる道德教育をめざして

日 時：2015（平成27）年8月17日 13:15～17:00

ところ：札幌エルプラザ 3階 中研修室

（札幌市北区北八条西三丁目……JR札幌駅北口前）

日 程：13:00～13:20 受付

13:30～15:00

シンポジウム

15:05～16:50

道德教育実践の発表と
討論・交流



内 容：＜「シンポジウム」について＞

- 「人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」（新学習指導要領総則より）道徳教育を、今日の道徳教育及び「道徳の時間」の現実から見つめ直すシンポジウム

〈パネラー〉 塚本智宏さん(北海道東海大教授)

“子どもが価値を追究すること。

子どもにとって個人の尊重、人格の完成(教基法第1条)とは”

内藤修司さん(北海道生活教育研究会研究部長)

“「特別の教科 道徳」と学校現場はどうむきあうか”

原田 勇さん(道教育大非常勤講師)

“「新学習指導要領 道徳」をまず読んでみましょう”

＜「道徳教育実践の発表と討論・交流」について＞

～実践発表をもとに、次のような討論・交流をしてみませんか～

- 自然・社会・文化追求の場としての教科・授業と道徳教育
- 教科外（総合的な学習の時間、特別活動、部活動など）での豊かな文化体験と集団的活動と道徳教育
- 対話・交流・自治の取り組みの場としての学校・学級生活と道徳教育
- 偏狭な徳目主義・形骸化した道徳の授業から、主権者を育む「道徳の授業」改善

参加費：1,000円

(会場費・資料代として500円、フォーラム年会費として500円)

※すでにフォーラム会員として会費をいただいている方は、会場・資料代500円だけです

小学校学習指導要領解説

特別の教科 道徳編

平成27年7月

文 部 科 学 省

連絡先： 北海道道徳教育フォーラム

〒060-0909 札幌市東区北九条東一丁目

北海道労働センター3階 北海道子どもセンター気付

TEL : 090-5956-1787 (事務局：柳憲一)

mail : dodoutoku@gmail.com

hp : http://dodoutoku.jimdo.com